

## 宍道湖・中海をもっときれいに！

～ 一人ひとりが汚れを出さない取組にご協力を ～

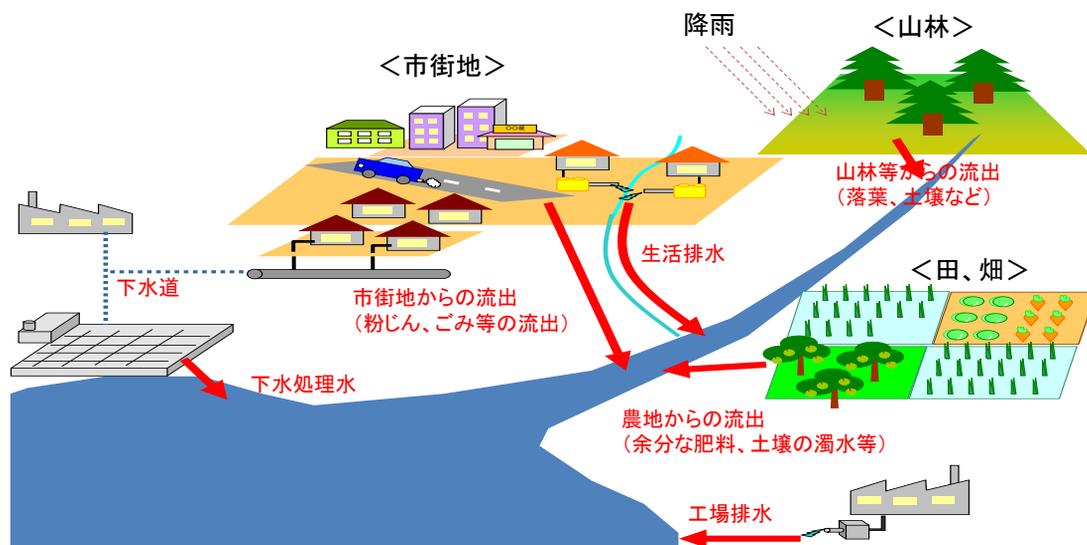
○宍道湖や中海などの湖は、工場や家庭からの排水に含まれる汚れが溜まりやすく、水質が悪くなりやすい特徴があります。

○いったん水質が悪くなると、改善は容易ではありません。

○宍道湖・中海では、湖沼水質保全計画を策定し、下水道の整備等の水質保全事業や、工場・事業場からの排水規制、農地、市街地等からの流出負荷削減対策を総合的かつ計画的に推進し、20年間余りかけて湖に入る汚れを約3割削減してきました。

○しかし、平成22～24年にアオコの大量発生などがあり、引き続き水質の改善に取り組んでいく必要があります。

○県民の皆さまの一層の理解と協力をいただきながら、湖沼環境に配慮して、汚れを出さない取組を進めていきたいと思えます。



### 【みなさまに特に取り組んでいただきたい主な取組】

○浄化槽の適正使用、適正管理につとめましょう。

浄化槽にも処理能力があります。鍋やお皿の汚れ、油汚れなどのふき取りを行ってから洗うなど、浄化槽への負荷を少なくしましょう。

また、保守点検、清掃及び法定検査を行い、適正管理を行いましょう。

○道路清掃や河川清掃など清掃活動に参加し、湖沼への泥やゴミの流出を防ぎましょう。

除草した草などは放置しないで適正に処分し、河川等へ流出しないようにしましょう。

○田んぼの代かき時などに適正な水管理を行い、濁りや肥料成分の流出防止を図りましょう。

○ボランティアや環境学習などに参加し、美しい湖沼環境を守る輪を広げましょう。

○五感による湖沼環境調査へ参加し、宍道湖・中海の状況を観察しましょう。

<その他の取組については、裏面を参考にしてください。>

# 【水質浄化、汚濁負荷削減につながるいろいろな取り組みを行っています】

## ①家庭での取組み

- ・ 調理くずの流出防止
- ・ 生ゴミのコンポスト容器などによる堆肥化
- ・ 鍋やお皿の汚れ、油汚れのふき取り
- ・ 廃食用油の回収
- ・ 石けんまたは合成洗剤の適正使用
- ・ 浄化槽等の適正使用、適正管理

わたしたちができる  
ことから始めましょう

フライパンや鍋、お皿の汚れは  
まず古紙や古布で  
ふき取ってから洗いましょう。



チラシなどを切って  
台所に備えて  
おくと便利!

油はなるべく使いきるように工夫し、使え  
なくなった油は、流しに流さないようにし  
ましょう。廃食用油の回収に出す古紙等  
にしみこませてゴミとして出しましょう。



廃食用油を自治体  
回収している所は  
回収を活用しましょう!

## ②農業地域での取組み

- ・ 低成分肥料・暖効性肥料・有機質肥料の使用
- ・ 排水路の泥上げ
- ・ 代かき時の濁水流出防止等の適正な水管理  
(浅水代かき、田植え前の落水量の低減)
- ・ 側条施肥田植え機の活用
- ・ 土壌診断等に基づく減肥
- ・ 水田農薬散布後の「7日間」の止水
- ・ エコファーマー制度、エコロジー農産物推奨制度の活用
- ・ 環境保全型農業直接支払等の活用
- ・ 畜舎管理の適正化
- ・ 家畜排せつ物の管理の適正化及び適正利用の促進

<浅水代かき>



## ③都市地域の取組み

- ・ 道路路面、道路側溝、水路の清掃
- ・ 公園等の清掃、地域の美化活動



<清掃活動>

<森林整備>



## ④自然地域での取組み

- ・ 森林の適正管理 (植林、下刈り、除伐、間伐等)
- ・ 治山、砂防施設の建設 (えん堤工、山腹工等)

## ⑤流入河川の直接浄化の取組み

- ・ 河川のしゅんせつ
- ・ 堤防の除草等
- ・ 河川内の藻刈

<ヨシ刈りボランティア>



<藻刈り>



## ⑥その他の取組み

- ・ ボランティアによるヨシの刈り取り(堆肥化、草抑え利用等)
- ・ 栄養塩の回収に繋がる藻の刈り取り (海藻肥料の活用)
- ・ シジミの消費(栄養塩の持ち出し効果あり)
- ・ 環境学習の実施、普及啓発
  - ・ 子ども達の水質保全に対する意識の向上(みんなで調べる流入河川調査)
  - ・ 五感による湖沼環境調査(湖沼環境モニター)
  - ・ 各種団体による環境学習等

**\* 海藻肥料、ヨシの草抑え利用など、興味のある方は是非ご連絡を！**

島根県環境生活部 環境政策課 宍道湖・中海対策推進室  
TEL(0852)22-6445 FAX(0852)25-3830  
E-mail : kankyo@pref.shimane.lg.jp



<流入河川調査>